



2026年3月期 第3四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年2月6日

東

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ 上場取引所
コード番号 3774 URL <https://www.iij.ad.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 谷脇 康彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役 副社長執行役員CFO（氏名） 渡井 昭久 TEL (03) 5205-6500

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	249,331	8.7	24,412	17.9	24,631	19.6	16,439	18.0	16,274	18.0	17,756	5.2
2025年3月期第3四半期	229,310	14.0	20,705	2.1	20,588	4.8	13,927	6.0	13,786	6.2	16,878	6.8

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第3四半期	91.86		91.44	
2025年3月期第3四半期	77.93		77.53	

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	336,063	153,216	151,807	45.2
2025年3月期	312,435	142,086	140,683	45.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2026年3月期	—	19.50	—		
2026年3月期(予想)				19.50	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

		売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期		340,000	7.3	36,500	21.2	33,700	15.5	23,000	15.4	130.00

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（注2）2026年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	183,448,852株	2025年3月期	183,184,884株
2026年3月期3Q	6,186,775株	2025年3月期	6,268,144株
2026年3月期3Q	177,156,664株	2025年3月期3Q	176,896,528株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2026年2月6日に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書（未監査）	9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書（未監査）	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書（未監査）	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書（未監査）	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（未監査）	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(会計方針の変更)	17
(セグメント情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当四半期(2026年3月期第3四半期)の連結業績の概況

当期における国内景気は緩やかに回復しました。先行きにつきましては、雇用及び所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続等による景気の下押しリスクがあり、金融資本市場の変動や地政学リスクの高まり等にも十分注意する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主にかかわる法人ICT(*1)関連市場では、クラウドコンピューティング関連サービスやAI(*2)等の企業活動への活用の浸透、それらも含む要因によるインターネットトラフィック(*3)の継続増加、事業継続におけるサイバーセキュリティ対策の重要性の一層の高まり等が想定されます。企業のネットワーク及びシステムの構成は、旧来の社内閉域ネットワークからインターネット技術も融合した複合的なものへと変化しつつあり、今後も堅牢かつ柔軟なネットワーク及びシステムの安定運用の重要性が増していくと期待しております。

当第3四半期連結累計期間の事業進展につきましては、企業及び官公庁のDX(*4)進展等によりネットワーク及びシステム構成が変化し拡張するなか、企業内ネットワークの構築やシステム運用等の需要が際立っております。当社グループはこれを大幅な事業拡大の契機と捉え、多様な業種でネットワーク更改等の大型サービスインテグレーション案件(*5)を積極的に獲得しております。これらはシステム構築売上計上後にネットワークサービスやシステム運用保守との月額ストック売上(*6)に順次推移しており、更には、大口の企業内ネットワークを運用保守することから、サイバーセキュリティ対策の運用や情報システムアウトソースの需要など、更なる中期的な成長機会に繋がるものと捉えております。これらの進展のなか、売上高は前年同期比8.7%増、そのうちシステム構築との一時的売上は前年同期比3.5%減(前年同期1件約50億円の個別大型案件の反動減を内包)、月額ストック売上は前年同期比12.0%増となりました。また、システム構築及びシステム運用保守の受注額は、各々前年同期比28.6%増及び20.3%増と伸長しました。利益面では、相対的に低利なシステム構築需要が強含む事業構造のなかインフレ等による全般的なコスト増加基調もあり、粗利は大きく伸長してはおりませんが、中期に渡る規模拡大のなかスケールメリットを発揮し向上していくものと期待しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、総売上高は、前年同期比8.7%増の249,331百万円(前年同期229,310百万円)となりました。売上原価は前年同期比8.2%増の195,125百万円(前年同期180,382百万円)となり、売上総利益は前年同期比10.8%増の54,206百万円(前年同期48,928百万円)となりました。内訳といたしましては、ネットワークサービスの売上高は前年同期比10.0%増の132,121百万円(前年同期120,109百万円)、売上総利益は前年同期比6.2%増の35,766百万円(前年同期33,692百万円)となり、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比7.4%増の114,958百万円(前年同期107,003百万円)、売上総利益は前年同期比22.1%増の17,362百万円(前年同期14,216百万円)となりました。そのうち、システム構築売上は前年同期比3.5%減の45,104百万円(前年同期46,726百万円)、システム運用保守売上は前年同期比15.9%増の69,854百万円(前年同期60,277百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は前年同期比2.5%増の2,252百万円(前年同期2,198百万円)、売上総利益は前年同期比5.7%増の1,078百万円(前年同期1,020百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は当第2四半期に退職金制度改定に伴う一時的な利益1,169百万円等があり、前年同期比5.6%増の29,794百万円(前年同期28,223百万円)となりました。営業利益は、前年同期比17.9%増の24,412百万円(前年同期20,705百万円)となりました。税引前四半期利益は、ファンドに係る金融資産評価益1,315百万円(前年同期512百万円の評価益)、受取配当金189百万円(前年同期128百万円)、銀行借入及びリース取引に係る支払利息1,002百万円(前年同期738百万円)及び為替差損50百万円(前年同期144百万円の利益)等があり、前年同期比19.6%増の24,631百万円(前年同期20,588百万円)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比18.0%増の16,274百万円(前年同期13,786百万円)となりました。

用語集

- (*1) ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (*2) AI: Artificial Intelligenceの略。コンピュータシステムや機械が、推論、判断及び学習等の人間の知能を再現する技術のこと。
- (*3) インターネットトラフィック: インターネットを通じて転送されるデータ流量のこと。
- (*4) DX: Digital Transformationの略。データとデジタル技術を活用して、ビジネスモデル・業務プロセス等を変革すること。
- (*5) サービスインテグレーション: 初期にネットワーク構築等のシステム構築売上が計上され、以後にネットワークサービス及びシステム運用保守との月額売上が計上されるネットワークサービスとシステムインテグレーションが融合した態様の役務提供となる案件の総称。大型案件とは期間総額10億円以上の案件を指す。
- (*6) 月額ストック売上: 継続提供にて月次計上される恒常的売上。法人・個人向けインターネット接続サービス、アウトソーシングサービス、WANサービス、SI運用保守の合計額を指す。

②経営成績の分析

当社グループは、ネットワークサービスとシステムインテグレーションを複合して顧客に提供しており、「ネットワークサービス及びSI事業」を主要な報告セグメントとしております。以下では、役務別の分析により記載しております。

<連結業績サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	229,310	249,331	8.7
ネットワークサービス売上高	120,109	132,121	10.0
システムインテグレーション売上高 (注)1	107,003	114,958	7.4
ATM運営事業売上高	2,198	2,252	2.5
売上原価合計	△180,382	△195,125	8.2
ネットワークサービス売上原価	△86,417	△96,355	11.5
システムインテグレーション売上原価 (注)1	△92,787	△97,596	5.2
ATM運営事業売上原価	△1,178	△1,174	△0.3
売上総利益合計	48,928	54,206	10.8
ネットワークサービス売上総利益	33,692	35,766	6.2
システムインテグレーション売上総利益 (注)1	14,216	17,362	22.1
ATM運営事業売上総利益	1,020	1,078	5.7
販売管理費等 (注)2	△28,223	△29,794	5.6
営業利益	20,705	24,412	17.9
税引前四半期利益	20,588	24,631	19.6
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,786	16,274	18.0

(注) 1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

<セグメント情報サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	229,310	249,331
ネットワークサービス及びSI事業	227,138	247,106
ATM運営事業	2,198	2,252
セグメント間取引消去	△26	△27
連結営業利益	20,705	24,412
ネットワークサービス及びSI事業	19,836	23,480
ATM運営事業	869	932
セグメント間取引消去	-	-

i) 売上収益

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比8.7%増の249,331百万円(前年同期 229,310百万円)となりました。

＜ネットワークサービス売上高＞

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、法人IoT等用途向けモバイルサービス及びIPサービス等の売上増加があり、前年同期比10.7%増の39,999百万円(前年同期 36,132百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、個人向けモバイルサービス等の売上増加があり、前年同期比7.2%増の21,317百万円(前年同期 19,880百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス等の売上増加があり、前年同期比14.2%増の49,599百万円(前年同期 43,434百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年同期比2.6%増の21,206百万円(前年同期 20,663百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比10.0%増の132,121百万円(前年同期 120,109百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

＜ネットワークサービス売上高の内訳＞

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減率 (%)
ネットワークサービス売上高合計	120,109	132,121	10.0
法人向けインターネット接続サービス	36,132	39,999	10.7
IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)	12,806	13,895	8.5
IIJモバイルサービス	19,754	22,301	12.9
法人IoT等用途向け直接提供	11,259	13,389	18.9
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	8,495	8,912	4.9
その他	3,572	3,803	6.5
個人向けインターネット接続サービス	19,880	21,317	7.2
IIJmioモバイルサービス	17,375	18,743	7.9
その他	2,505	2,574	2.8
アウトソーシングサービス	43,434	49,599	14.2
WANサービス	20,663	21,206	2.6

＜インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域＞(注)1

	前第3四半期連結会計期間末 (2024年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	4,336,695	4,980,248	643,553
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	1,460	1,510	50
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,582	1,657	75
IIJモバイルサービス	4,230,732	4,872,806	642,074
法人IoT等用途向け直接提供	2,999,911	3,499,978	500,067
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,230,821	1,372,828	142,007
その他	102,921	104,275	1,354
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,607,052	1,696,675	89,623
IIJmioモバイルサービス	1,284,309	1,394,701	110,392
その他	322,743	301,974	△20,769

	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域(注)3	11,826.1	15,787.8	3,961.7

(注) 1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。

2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。

3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出してあります。

＜システムインテグレーション売上高＞

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、前年同期比3.5%減(前年同期1件約50億円の個別大型案件の反動減を内包)の45,104百万円(前年同期 46,726百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、システム運用保守案件の継続積み上げによる増加等があり、前年同期比15.9%増の69,854百万円(前年同期 60,277百万円)となりました。

これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比7.4%増の114,958百万円(前年同期 107,003百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比23.7%増の140,459百万円(前年同期 113,588百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比28.6%増の58,498百万円(前年同期 45,485百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比20.3%増の81,961百万円(前年同期 68,103百万円)でありました。

当第3四半期連結会計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比22.1%増の140,944百万円(前年同期末 115,478百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比29.7%増の29,199百万円(前年同期末 22,520百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比20.2%増の111,745百万円(前年同期末 92,958百万円)でありました。

＜ATM 運営事業売上高＞

ATM運営事業売上高は、前年同期比2.5%増の2,252百万円(前年同期 2,198百万円)となりました。

ii) 売上原価

当第3四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比8.2%増の195,125百万円(前年同期 180,382百万円)となりました。

＜ネットワークサービス売上原価＞

ネットワークサービスの売上原価は、モバイル端末仕入の増加等があり、前年同期比11.5%増の96,355百万円(前年同期 86,417百万円)となりました。過年度に継続して生じていたモバイルデータ接続料の単価確定(2024年度利用分)による費用戻し効果は、当第3四半期にはありませんでした。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比6.2%増の35,766百万円(前年同期 33,692百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は27.1%(前年同期 28.1%)となりました。

＜システムインテグレーション売上原価＞

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、外注関連費用の増加等があり、前年同期比5.2%増の97,596百万円(前年同期 92,787百万円)となりました。システムインテグレーションの売上総利益は、増収効果に加えて、前年同期にあったVMware製品の実質大幅値上げによる利益マイナス影響は価格転嫁で概ね解消し、前年同期比22.1%増の17,362百万円(前年同期 14,216百万円)となり、売上総利益率は15.1%(前年同期 13.3%)となりました。

＜ATM 運営事業売上原価＞

ATM運営事業売上原価は、前年同期比0.3%減の1,174百万円(前年同期 1,178百万円)となりました。売上総利益は、前年同期比5.7%増の1,078百万円(前年同期 1,020百万円)となり、売上総利益率は47.9%(前年同期 46.4%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、人件関連費用の増加等があり、前年同期比9.5%増の30,905百万円(前年同期 28,228百万円)となりました。

その他の収益は、当第2四半期に退職金制度改定に伴う一時的な利益1,169百万円等があり、1,274百万円(前年同期 119百万円)となりました。その他の費用は163百万円(前年同期 114百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比17.9%増の24,412百万円(前年同期 20,705百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第3四半期連結累計期間における金融収益は、ファンドに係る金融資産評価益1,315百万円(前年同期 512百万円の評価益)、受取配当金189百万円(前年同期 128百万円)等により、1,690百万円(前年同期 903百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における金融費用は、銀行借入及びリース取引に係る支払利息1,002百万円(前年同期 738百万円)、為替差損50百万円(前年同期 144百万円の利益)等により、1,088百万円(前年同期 756百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、(株)ディーカレットホールディングスに関する損失561百万円(前年同期 335百万円の損失)等があり、383百万円の損失(前年同期 264百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比19.6%増の24,631百万円(前年同期 20,588百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第3四半期連結累計期間における法人所得税費用は、8,192百万円(前年同期 6,661百万円)となり、当第3四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比18.0%増の16,439百万円(前年同期 13,927百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、(株)トラストネットワークスに係る利益等により165百万円(前年同期 141百万円)となり、当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比18.0%増の16,274百万円(前年同期 13,786百万円)となりました。

viii) 四半期包括利益

当第3四半期連結累計期間における四半期包括利益は、在外子会社の資産及び負債にかかる為替変動の影響1,029百万円(前年同期 513百万円)等により、前年同期比5.2%増の17,756百万円(前年同期 16,878百万円)となり、当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期包括利益は、前年同期比5.1%増の17,591百万円(前年同期 16,737百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び株主資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比23,628百万円増加し、336,063百万円(前連結会計年度末 312,435百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比12,856百万円増加し、143,051百万円(前連結会計年度末 130,195百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、現金及び現金同等物の8,069百万円増加の40,603百万円、営業債権の5,433百万円減少の50,928百万円、顧客向け案件及びライセンス並びに設備関連等による前払費用の7,707百万円増加の35,829百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比10,772百万円増加し、193,012百万円(前連結会計年度末 182,240百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、データセンター関連資産の取得等による有形固定資産の6,321百万円増加の40,092百万円、使用権資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)の償却等による4,390百万円減少の41,366百万円、無形資産の1,285百万円増加の22,306百万円、顧客向け案件及びライセンス等による前払費用の4,410百万円増加の33,218百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比9,865百万円増加し、123,180百万円(前連結会計年度末 113,315百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、営業債務及びその他の債務の681百万円減少の29,557百万円、借入金の1,954百万円増加の35,570百万円、契約負債の6,203百万円増加の21,889百万円、その他の金融負債の3,799百万円増加の24,678百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比2,633百万円増加し、59,667百万円(前連結会計年度末 57,034百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、退職給付に係る負債3,847百万円減少の1,002百万円、契約負債の5,535百万円増加の15,647百万円、その他の金融負債の1,250百万円増加の38,949百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比11,124百万円増加の151,807百万円(前連結会計年度末 140,683百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は45.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、40,603百万円(前年同期末 34,814百万円)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益24,631百万円(前年同期 20,588百万円)、減価償却費及び償却費24,417百万円(前年同期 23,280百万円)、うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費8,698百万円(前年同期 8,998百万円)、法人所得税の支払い9,591百万円(前年同期 9,400百万円)があり、営業資産及び負債の増減は、営業債権及び契約負債による収入増、前払費用の支出減等により181百万円の収入(前年同期 17,122百万円の支出)となり、40,165百万円の収入(前年同期 19,329百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、データセンター関連他の有形固定資産の取得による14,422百万円の支出(前年同期 9,711百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による5,958百万円の支出(前年同期 6,267百万円の支出)等があり、17,847百万円の支出(前年同期 17,875百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、本社オフィス等のオペレーティング・リース及びネットワーク機器等のファイナンス・リースの支払等によるその他の金融負債の支払18,508百万円(前年同期 17,502百万円)、その他の金融負債による収入8,273百万円(前年同期 7,770百万円)、配当金の支払6,553百万円(前年同期 6,134百万円)、短期借入金による調達2,000百万円(前年同期 7,000百万円)等があり、14,968百万円の支出(前年同期 12,459百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間の連結業績につきまして、売上高は、ネットワークサービスが想定を若干下回る一方でシステムインテグレーションが上回り、総じて想定を若干上回り推移いたしました。営業利益は、主としてこれらの売上推移の構成比率等により、想定を若干下回りました。一方、親会社の所有者に帰属する当期利益は、金融収益が想定を上回り、想定通りに推移いたしました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日現在)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,534	40,603
営業債権	56,361	50,928
棚卸資産	4,681	5,471
前払費用	28,122	35,829
契約資産	6,098	6,902
その他の金融資産	2,247	2,822
その他の流動資産	152	496
流動資産合計	130,195	143,051
非流動資産		
有形固定資産	33,771	40,092
使用権資産	45,756	41,366
のれん	10,307	10,698
無形資産	21,021	22,306
持分法で会計処理されている投資	6,639	6,192
前払費用	28,808	33,218
契約資産	327	2,084
投資有価証券(株式)	15,823	15,193
その他の投資	10,711	12,175
繰延税金資産	252	312
その他の金融資産	8,361	9,077
その他の非流動資産	464	299
非流動資産合計	182,240	193,012
資産合計	312,435	336,063

	前連結会計年度末 (2025年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日現在)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	30,238	29,557
借入金	33,616	35,570
未払法人所得税	5,205	3,926
引当金	316	471
契約負債	15,686	21,889
繰延収益	36	67
その他の金融負債	20,879	24,678
その他の流動負債	7,339	7,022
流動負債合計	113,315	123,180
非流動負債		
退職給付に係る負債	4,849	1,002
引当金	1,551	1,238
契約負債	10,112	15,647
繰延収益	209	188
繰延税金負債	1,474	1,301
その他の金融負債	37,699	38,949
その他の非流動負債	1,140	1,342
非流動負債合計	57,034	59,667
負債合計	170,349	182,847
資本		
資本金	25,577	25,663
資本剰余金	35,865	35,749
利益剰余金	79,885	90,174
その他の資本の構成要素	11,266	11,976
自己株式	△11,910	△11,755
親会社の所有者に帰属する持分合計	140,683	151,807
非支配持分	1,403	1,409
資本合計	142,086	153,216
負債及び資本合計	312,435	336,063

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書（未監査）

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	120,109	132,121
システムインテグレーション売上高	107,003	114,958
ATM運営事業売上高	2,198	2,252
売上収益合計	229,310	249,331
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△86,417	△96,355
システムインテグレーション売上原価	△92,787	△97,596
ATM運営事業売上原価	△1,178	△1,174
売上原価合計	△180,382	△195,125
売上総利益	48,928	54,206
販売費及び一般管理費	△28,228	△30,905
その他の収益	119	1,274
その他の費用	△114	△163
営業利益	20,705	24,412
金融収益	903	1,690
金融費用	△756	△1,088
持分法による投資損益	△264	△383
税引前四半期利益	20,588	24,631
法人所得税費用	△6,661	△8,192
四半期利益	13,927	16,439
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,786	16,274
非支配持分	141	165
四半期利益	13,927	16,439
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	77.93	91.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	77.53	91.44

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	13,927	16,439
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして 指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	2,429	△76
確定給付制度の純額の再測定	—	344
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,429	268
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	513	1,029
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	9	△19
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	—	39
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	522	1,049
その他の包括利益合計 (税引後)	2,951	1,317
四半期包括利益	16,878	17,756
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,737	17,591
非支配持分	141	165
四半期包括利益	16,878	17,756

(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年4月1日時点の残高	25,562	35,737	65,616	10,863	△12,027	125,751
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	13,786	—	—	13,786
その他の包括利益	—	—	—	2,951	—	2,951
四半期包括利益合計	—	—	13,786	2,951	—	16,737
所有者との取引額						
新株の発行	15	△15	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	△0	△0
自己株式の処分	—	△15	—	—	117	102
配当金	—	—	△6,134	—	—	△6,134
株式報酬取引	—	92	—	—	—	92
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△21	21	—	—
所有者との取引額合計	15	62	△6,155	21	117	△5,940
2024年12月31日時点の残高	25,577	35,799	73,247	13,835	△11,910	136,548

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2024年4月1日時点の残高	1,281	127,032
四半期包括利益		
四半期利益	141	13,927
その他の包括利益	—	2,951
四半期包括利益合計	141	16,878
所有者との取引額		
新株の発行	—	—
自己株式の取得	—	△0
自己株式の処分	—	102
配当金	△49	△6,183
株式報酬取引	—	92
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
所有者との取引額合計	△49	△5,989
2024年12月31日時点の残高	1,373	137,921

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年4月1日時点の残高	25,577	35,865	79,885	11,266	△11,910	140,683
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	16,274	—	—	16,274
その他の包括利益	—	—	—	1,317	—	1,317
四半期包括利益合計	—	—	16,274	1,317	—	17,591
所有者との取引額						
新株の発行	86	△85	—	—	—	1
自己株式の処分	—	31	—	—	155	186
配当金	—	—	△6,553	—	—	△6,553
株式報酬取引	—	△61	—	—	—	△61
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	568	△568	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△39	—	△39
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△1	—	—	—	△1
所有者との取引額合計	86	△116	△5,985	△607	155	△6,467
2025年12月31日時点の残高	25,663	35,749	90,174	11,976	△11,755	151,807

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2025年4月1日時点の残高	1,403	142,086
四半期包括利益		
四半期利益	165	16,439
その他の包括利益	—	1,317
四半期包括利益合計	165	17,756
所有者との取引額		
新株の発行	—	1
自己株式の処分	—	186
配当金	△63	△6,616
株式報酬取引	—	△61
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
非金融資産への振替	—	△39
支配継続子会社に対する 持分変動	△96	△97
所有者との取引額合計	△159	△6,626
2025年12月31日時点の残高	1,409	153,216

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	20,588	24,631
調整		
減価償却費及び償却費	23,280	24,417
固定資産除売却損益(△は益)	84	94
持分法による投資損益(△は益)	264	383
金融収益	△903	△1,690
金融費用	756	1,088
その他	2,242	1,152
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額(△は増加)	△1,252	5,813
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,172	△603
前払費用の増減額(△は増加)	△17,408	△11,582
契約資産の増減額(△は増加)	△3,778	△2,561
その他の資産の増減額(△は増加)	353	△334
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△4,017	△971
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	5,151	△311
契約負債の増減額(△は減少)	4,260	11,014
繰延収益の増減額(△は減少)	12	28
引当金の増減額(△は減少)	809	△295
その他の負債の増減額(△は減少)	642	△206
その他の金融負債の増減額(△は減少)	934	3,692
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	344	△3,503
小計	29,189	50,256
利息及び配当金の受取額	282	408
利息の支払額	△742	△908
法人所得税の支払額	△9,400	△9,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,329	40,165

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,711	△14,422
有形固定資産の売却による収入	1,112	2,577
無形資産の取得による支出	△6,267	△5,958
無形資産の売却による収入	—	2
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△1,925	△18
投資有価証券（株式）の取得による支出	△100	—
投資有価証券（株式）の売却による収入	—	504
その他の投資の取得による支出	△779	△616
その他の投資の売却による収入	16	141
敷金及び保証金の差入による支出	△289	△305
敷金及び保証金の回収による収入	129	57
積立保険料の支払	△56	△64
積立保険料の払戻による収入	—	225
その他	△5	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,875	△17,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,548	△47
短期借入金の純増減額（△は減少）	7,000	2,000
自己株式の取得による支出	△0	—
その他の金融負債による収入	7,770	8,273
その他の金融負債の支払	△17,502	△18,508
配当金の支払額	△6,134	△6,553
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△97
その他	△45	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,459	△14,968
現金及び現金同等物の為替変動による影響	345	719
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△10,660	8,069
現金及び現金同等物の期首残高	45,474	32,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,814	40,603

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（未監査）

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の事業活動の最高意思決定者である当社グループの代表取締役社長執行役員が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、代表取締役社長執行役員は、売上収益及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っています。

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っています。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。また、ATM運営事業は、銀行ATM及びネットワークシステムを構築し運営することにより、ATM利用に係る手数料収入を得ております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益				
外部顧客からの売上収益	227,112	2,198	-	229,310
セグメント間の売上収益	26	-	△26	-
売上収益合計	227,138	2,198	△26	229,310
セグメント営業利益	19,836	869	-	20,705
金融収益				903
金融費用				△756
持分法による投資損益				△264
税引前四半期利益				20,588

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

	報告セグメント		調整額	要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業		
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益				
外部顧客からの売上収益	247,079	2,252	-	249,331
セグメント間の売上収益	27	-	△27	-
売上収益合計	247,106	2,252	△27	249,331
セグメント営業利益	23,480	932	-	24,412
金融収益				1,690
金融費用				△1,088
持分法による投資損益				△383
税引前四半期利益				24,631

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。